

原理を理解しロス・ミス減

フォーム工連

技術力テーマの寺子屋を開催

日本フォーム印刷工業連
合会（櫻井醜会長）は、3
月15日まで千葉県八千代市

の株ミヤコシ八千代工場で
『ビジネスフォーム技能研
修会』を開催している。

同研修会はフォーム工連

が今年度から実施する「寺
子屋プロジェクト」の一環
で「技術力」をテーマとし
たもの。1回3日間のカリ
キュラムで4クール開かれ
ている。座学と実技から、
受講生が直接研修機に触れ
て学べるように毎回6名の

もので、印刷の基本を全す
ことなく学べる。
研修会に伴い、2月21日、
同工場で「ビジネスフォー
ム印刷技能研修会」の報告
会が開催され、フォーム工
連の櫻井会長、日暮秀一技
術委員長、山口実専務理事、
大平直木業務委員長、知識
氏、ミヤコシの宮腰亨社長
から研修会の狙いなどが語
られた。

小グループで実施してい
る。講師はミヤコシと、昨
年からフォーム工連の印刷
技術指導を行っているオフ
イス知識の知識三富氏が務
めている。研修用の印刷機
は、30年前のミヤコシ製の
機材をオーバーホールした

櫻井会長は「世の中全体
がいい方向に向かっていな
い中、どこで競争するかを
見極めなければならぬ。
『モノづくり』では、標準
化したものを皆で共有し、
『コトづくり』の部分で世
界を相手に勝負していくべ



研修会場を提供した
宮腰社長



挨拶する櫻井会長



研修会で講義する知識氏

きた」と挨拶した。

知識氏は「印刷のトラブ
ルは、原理を知れば防げる
こともある。印刷の現場で
長く働いている方は、高い
技術を持っているが、原理
に精通していないケースが
あり、使い慣れていない機
械で普段と同じように刷る
ことを苦手とする傾向があ
る。原理を知れば、ロスや
ミスを減らすベースになる
ので、多くの方に学んで欲
しい」と原理から学ぶ重要
性を語った。

日暮技術委員長は「フォー
ム工連は、大企業から中
小・零細企業までが一つに
なっている団体だが、若年
層の技術力不足という共通
課題を抱えている。フォー

ムには認定制度がないの
で、これを機会にマニユア
ルなどを一本化していきた
い」と今後の展開を述べた。
報告会では、受講生が白
インキを使ったローラーニ
ップの調整・管理、インキ
の練りや刷り出しなどを学
ぶ姿が披露された。



研修会実技指導の様子